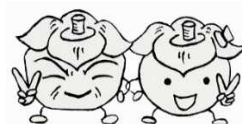


ふただ

二田小学校だより

ホームページ <http://kedu.kenet.ed.jp/futada/>

※「おたより」を日々アップしています。ぜひ、ごらんください。



柏崎市立二田小学校

柏崎市西山町長嶺 1718 番地 Tel 48-2054

令和2年 10月2日 336号

令和2年度 前期 学校評価から

学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。

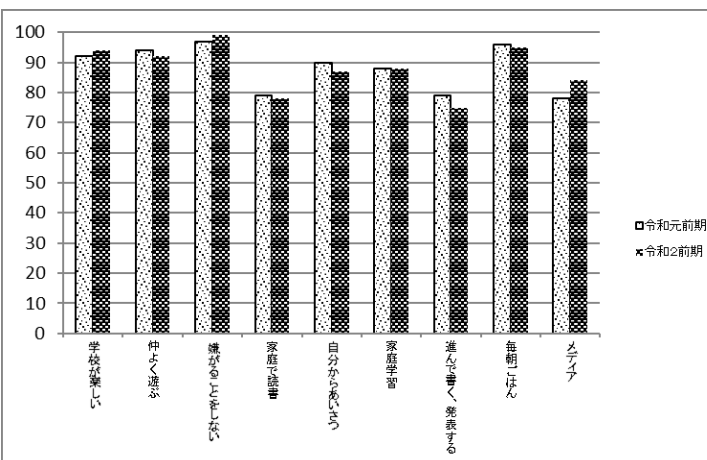
アンケート結果から主なものを報告いたします。



<児童アンケートより>

A: そう思う B: どちらかというとそう思う

項 目	年 度	A (%)	B (%)	計 (%)
学校が楽しい	令和2前期	70	24	94
	令和元前期	77	15	92
仲よく遊んだり、活動したりしている。	令和2前期	64	28	92
	令和元前期	68	26	94
相手が嫌がることをしないよう、気を付けている。	令和2前期	81	18	99
	令和元前期	78	19	97
家庭で進んで読書をしている。	令和2前期	44	34	78
	令和元前期	58	21	79
元気よく自分からあいさつしている。	令和2前期	58	29	87
	令和元前期	59	31	90
(10分×学年+10)の家庭学習をしている。	令和2前期	62	26	88
	令和元前期	65	23	88
進んで書いたり発言したりしている。	令和2前期	41	34	75
	令和元前期	39	40	79
毎日朝ごはんをバランスよく食べている。	令和2前期	79	16	95
	令和元前期	86	10	96
ゲームやパソコン、テレビ・ビデオの時間を決めている。	令和2前期	56	28	84
	令和元前期	59	19	78

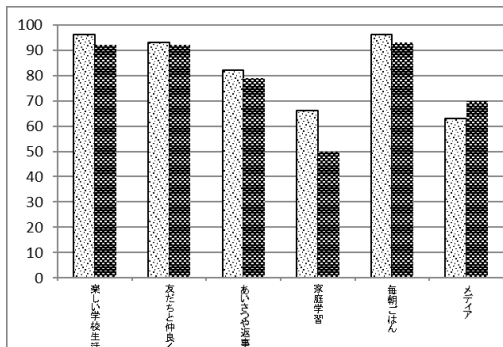


子供たちのアンケート結果は昨年とほとんど同じ結果が得られました。コロナ禍の中、授業の中で発表場面が減ったこともあり、「進んで書いたり発言したりする。」の項目が4ポイント下がりました。一方、「ゲームやパソコン……決めている。」の項目は6ポイントアップでした。家庭での時間が増えたことで、メディアの使い方がより重要になってきました。そのことについてはあとで考察します。

<保護者アンケートより>

A:そう思う B:どちらかというと思う

項 目	年 度	A (%)	B (%)	計 (%)
楽しく学校生活を過ごしている。	令和2前期	65	27	92
	令和元前期	61	39	100
友だちと仲良く遊んでいる	令和2前期	67	25	92
	令和元前期	51	42	93
友だちや周囲の大人たちにあいさつや返事ができる。	令和2前期	30	49	79
	令和元前期	27	55	82
(10分×学年+10)の家庭学習をしている。	令和2前期	33	35	68
	令和元前期	31	35	66
朝食を毎日食べている。	令和2前期	82	11	93
	令和元前期	82	14	96
ゲームやパソコン、テレビ・ビデオの時間を決めている。	令和2前期	21	49	70
	令和元前期	20	43	63

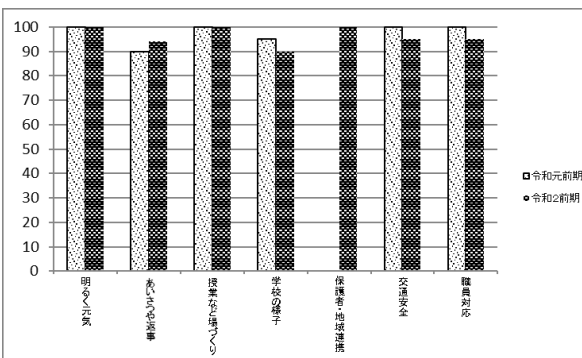


保護者アンケートの結果も、数値に大きな変化はありませんでした。「家庭学習をしている。」と回答した保護者が2ポイントアップです。また、「ゲームやパソコン・・・決めている。」の項目で7ポイントアップです。コロナ禍で家庭で過ごす時間が増えたことで、メディアに対する関心が上がっていると考えられます。

<地域アンケートより>

A:そう思う B:どちらかというと思う

項 目	年 度	A (%)	B (%)	計 (%)
子どもたちは、明るく元気に生活している。	令和2前期	80	20	100
	令和元前期	89	11	100
友だちや周囲の大人たちにあいさつや返事ができる。	令和2前期	38	48	86
	令和元前期	53	37	90
学校は、授業・行事などへの参観や場づくりを積極的に進めている。	令和2前期	68	32	100
	令和元前期	79	21	100
学校の様子を学校だよりやホームページ等でよく知ることができる。	令和2前期	77	23	100
	令和元前期	42	53	95
感染症対策をしっかりと行っている。(本年度より)	令和2前期	81	19	100
	令和元前期	0	0	0
交通安全ルールを守り、安全に遊んでいる。	令和2前期	52	43	95
	令和元前期	31	69	100
職員は、子どもの理解に努め、真剣に対応している。	令和2前期	52	43	95
	令和元前期	39	61	100



地域の方々からのアンケートの結果からも大きな変化は認められません。今年から新項目で「感染症対策をしっかりと行っている。」を加えました。また、ホームページで学校紹介をした結果、5ポイントアップでした。

あいさつについては課題を提示された形です。教員の評価とあわせてあいさつについても考察していきます。

<教員評価より>

教員評価は徳育部・知育部・体育部・特別支援教育部で評価を行ってきました。本年度はこの項目に管理事務部を加え、5つの分野から評価を行っています。

○徳育部

あいさつについては児童・保護者ともに肯定的評価の割合が下がっています。コロナ禍で常にマスクをしているため、口元が見えないことが評価を下げている一因と考えられます。あいさつは児童会が手をかえ品をかえ働きかけていますが、改善が見られません。また、決まった場所ではあいさつしない児童がいるので、どんな時でも、自分からあいさつできるように取り組みを工夫していきます。



また、「将来の夢や希望をもっている。」の項目では児童は87%が肯定的な評価であるのに対し、保護者は73%と評価が低かったです。キャリア教育などをより推進し、保護者の皆様にも分かる形で、活動を公開していきたいと考えます。

○知育部

家庭学習への取り組みについてのアンケート結果は、昨年と大きな変化はありませんでした。家庭学習カードの取り組みが定着してきていますが、個人差が大きくなってきていることが課題です。みんなが進んで取り組めるように工夫をしていきます。

「進んで書いたり、発表したりする。」の項目で、評価が下がりました。コロナ禍で話し合いの機会がもちにくかったことが一因として考えられます。授業の言語活動を充実させ、もっと子供たちが「伝えたい」と感じる授業ができるように工夫をしていきます。

○体育部

体育授業や休み時間に接触をしない運動を提案することができました。「体育授業は楽しい。」と感じる子どものポイントが高かったことにつながると思います。

臨時休校等で、家庭で過ごす時間が増えたことで、メディアとかかわる時間も増加しました。また、オンライン授業の必要性が高まり、子供たちのメディアに触れる年齢が低下してきました。これらの課題を保護者の皆様と、共有しながら今後のメディアとの付き合い方を考えていく必要があります。

○特別支援教育部

対人関係が苦手な児童への対応と指導に工夫をしていく必要があります。本人も周囲の子供たちも納得できるタイミングで適切な指導を心掛けていきます。

一人一人のよさを認め合えるように、友達のよさに気付いて、認め合える雰囲気をもっと醸成していく必要があります。

○管理事務部

本年度新設した評価の観点です。個人情報の管理やお金の管理を見直し、学校全体の問題点について考えました。

現在、中学年以上の女子は図工室で着替えをしています。この状況を改善するために体育館の用具室の整理を行い、女子更衣室を体育館に作る計画を進めることにしました。



<評価の結果から>

<メディアについて>

今回の学校評価の結果から、特筆する点として「メディアとのかかわり方」があげられます。

子供たちと保護者の皆様の評価で共通してポイントが上がりました。また、子供のアンケート結果においてメディアの項目と多くの他の項目が強く関連していることが分かりました。

メディアと強い関連があった項目

- ・学校が楽しい
- ・家庭学習の内容を工夫している
- ・家庭学習の時間
- ・歯みがき
- ・睡眠時間
- ・授業中に話を聞いている
- ・運動にめあてをもっている
- ・進んで読書をしている
- ・交通ルールを守っている

関連があると言うことは、例えば「メディアのきまりを守っている子供は学校が楽しいと感じている。」や「メディアのきまりを守っている子供は家庭学習内容を工夫している。」と言い換えることができます。

コロナ禍で臨時休校の際に、オンライン授業の必要性が社会的に高まりました。それにともない、子供たちのメディアに接する時間が増え、利用する年齢が下がってきています。メディアとは上手に付き合っていく必要があるのです。

一方で、「メディアのきまり」の項目について、肯定的回答をした割合に親と子供では、差が見られました。これは、子供はきまりを守っているつもりでも、親から見るとそれ程でもないということを示しています。

さて、子供たちはオンラインゲームなどに対する免疫がありません。オンラインゲームの面白さに、自分の時間の使い方を見失っている事も考えられます。そんな時には、保護者の方から子供たちを見守っていただきたいと思います。親から注意されると子供の中には、ゲームができないことへの不満を親にぶつける子もいるでしょう。しかし、上手にきまりを作って、子供たちの健全な育成を促すようお願いいたします。

<楽しい学校を目指して>

保護者が子どもが楽しそうに学校に通っている様子を見ることは、とてもうれしいですね。何より、安心します。そこで、親が「子どもが学校に楽しく通っている。」という項目と関連があった項目を紹介します。

親が子どもが学校に楽しく通っていると関連のあった項目

- ・友達と仲良くしている
- ・家庭学習の内容
- ・きまりを守っている
- ・進んで体を動かしている

やはり、友達関係は気になります。ご家庭でお子さんから、友達と仲良く遊んだ話を聞くと安心します。また、学校が楽しいと感じる子供たちは、家庭学習の内容を工夫したり、きまりを守ったり、進んで体を動かしたりしています。学校のきまりはみんなが気持ちよく過ごすためにあります。家庭学習の内容を工夫している子どもは、自分で家庭学習をするための時間を作っていると考えられます。このように考えると、子どもが学校を楽しんでいるための資質として、対人関係調整能力と自己管理能力が関係しているようです。

きまりを守り、自分を律することができる子どもを目指します。
メディアと上手に付き合える子どもを育成します。
どんな時でも元気なあいさつができる子どもを育成します。